

音楽科学習指導案

日 時 令和6年7月11日(木)
 6校時 14:05～14:50
 学校名 文京区立青柳小学校
 対 象 第5学年1組 27名
 会 場 4階 音楽室
 授業者 指導教諭 金田 美奈子

1 題材名 和音に合わせてせんりつをつくろう

(音楽のおくりもの5：教育出版)

2 題材の目標

- (1) 曲想と和音の響きと和音の連結によって生まれる和声と旋律との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な和音の響きと和音の連結によって生まれる和声を感じながら演奏する技能や音楽の仕組みを用いて音楽をつくる技能を身に付ける。
- (2) 旋律や和音の響きと和音の連結によって生まれる和声を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するのか、音を音楽へと構成することを通して、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて、思いや意図をもつ。
- (3) 和音の響きと和音の連結によって生まれる和声に合わせて演奏したり旋律をつくったりする活動に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に学習活動に取り組もうとする。

3 指導事項との関連

A表現

(2)器楽 ア イ(ア) ウ(ア) (イ) (ウ)

(3)音楽づくり ア(イ) イ(イ) ウ(イ)

〔共通事項〕(1)ア イ：へ音記号 反復記号(1番かっこ、2番かっこ)

(本題材の学習において、児童の思考・判断のよりどころとなる主な音楽を形づくっている要素：「旋律」「和音の響き」「音楽の縦と横との関係」)

※本題材における「音楽の縦と横との関係」とは、「I IV V I」の和音の響きと和音の連結によって生まれる和声と旋律を指す。

4 題材の評価規準

知識・技能(知・技)	思考・判断・表現(思)	主体的に学習に取り組む態度(態)
<p>知 和音の響きと和音の連結によって生まれる和声と旋律との関わりについて、それらが生み出すよさや面白さなどと関わらせて理解している。</p> <p>技①思いや意図に合った表現をするために必要な和音の響きと和音の連結によって生まれる和声を感じながら演奏する技能を身に付けている。</p> <p>技②思いや意図に合った表現をするために必要な音楽の縦と横との関係を用いて、音楽をつくる技能を身に付けている。</p>	<p>思①旋律を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考えている。</p> <p>思②音楽の縦と横との関係を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、旋律を工夫し、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。</p>	<p>態 和音の響きと和音の連結によって生まれる和声に合わせて表現する活動に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。</p>

5 児童の実態と題材設定の理由

本題材では、はじめに「茶色の小びん」の旋律と低音を演奏してから和音について知覚・感受する活動を設定し、旋律にふさわしい主要三和音による和音の連結を学習する。次に、学習者用デジタル教材を活用し、「I IV V I」の和音に合った音と音を結び付ける活動から、和声進行に合ったまとまりのある旋律づくりへと学習を進展させ、リコーダーで実際に音を出して試しながら、つくった旋律を友達と聴き合う。最後にもう一度「茶色の小びん」を合奏し、旋律にふさわしい和音の連結による音楽の響きを聴き取り、感覚的にその変化のよさや美しさを味わうことができるようにする。

また、毎時間の導入でトーンチャイムを使って主要三和音による和音の連結を演奏することで、和音の響きや和音の移り変わりについて実感を伴いながら知覚・感受することができるようにする。

このような学習を通して、和音の響きと和音の連結によって生まれる和声に対する感覚を育成したいと考え、本題材を設定した。

6 教材について

「茶色の小びん」(矢部 実作詞 J. ウィンナー作曲 大畑みどり編曲)ハ長調 4/4拍子

「I IV V I」という和音の連結の反復で旋律が構成されており、児童が和声を捉えやすい曲である。

「和音に合わせてせんりつをつくろう」

ハ長調の和音の構成音を使って、「I IV V I」に合う旋律をつくる学習に適した教材である。

和音の響きの移り変わりに合う音と音とを即興的につなげる活動から、リズムや音のつなげ方を工夫することによって、自分の思いや意図をもって音楽をつくる活動へと発展させることができる。

7 題材の指導計画と評価計画(全6時間)

時	目標	○ 学習内容 ・ 学習活動	評価 (評価方法)		
			知・技	思	態
第1時	旋律を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考える。	○旋律の知覚・感受 ・「茶色の小びん」の主旋律を階名で歌う。 ・「茶色の小びん」の主旋律をリコーダーで演奏する。 ・ヘ音記号の読み方を知り、低音のパートを階名で歌ったりキーボードで演奏したりする。 ・2グループに分かれて演奏を聴き合ったり教師の範奏を聴いたりして、低音に旋律が加わることによる音楽的な効果について考えを交流する。		思① (発言、演奏、)	態 (発言、演奏、)
第2時	思いや意図に合った表現をするために必要な和音の響きと和音の連結によって生まれる和声を感じながら演奏する技能を身に付ける。	○和音の響きと和音の連結によって生まれる和声の知覚・感受 ・「和音のはたらきを感じ取ろう」を見ながら、「I IV V」の和音をトーンチャイムでつくる。 ・和音の響きの違いについて交流する。 ○和音の響きと和音の連結によって生まれる和声を感じながら演奏する技能の習得 ・「茶色の小びん」の主旋律や低音を演奏する。	技① (発言、演奏、)		態 (発言、演奏、)
第3時	和音の響きと和音の連結によって生まれる和声と旋律との関わりについて、そ	○和音の響きと和音の連結によって生まれる和声と旋律との関わり ・和音の連結に気を付けながら、3つのパートに分かれグループで合奏する。	知 (発言、演奏、記述)		態 (発言、演奏、記述)

	れらが生み出すよさや面白さなどに関わらせて理解する。	<ul style="list-style-type: none"> 互いの演奏を聴き、低音や和音の役割について、考えを交流する。 和声と旋律とのかかわりについて感じ取ったことをまとめる。 			
第4時	思いや意図に合った表現をするために必要な音楽の縦と横との関係を用いて、音楽をつくる技能を身に付ける。	<ul style="list-style-type: none"> ○音楽の縦と横との関係を用いた旋律づくり ・学習コンテンツの使い方を知る。 ・和音の連結に気を付けながら音のつなげ方を試し、4小節の旋律をつくる。 	技② (発言、音楽づくり、記述)		態 (発言、音楽づくり、記述)
第5時 (本時)	音楽の縦と横との関係を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、旋律を工夫し、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもつ。	<ul style="list-style-type: none"> ○全体のまとまりを意識した旋律づくり ・学習者コンテンツに、低音と和声進行を入力する。 ・前時につくった4小節の作品を手掛かりにして、リコーダーでまとまりのある旋律をつくる。 ・つくった旋律をコンテンツの和音に合わせて歌ったりリコーダーで演奏したりしながら再構成する。 ・つくった旋律を聴き合う。 ・旋律を学習カードに書く。 		思② (発言、演奏、音楽づくり、記述)	態 (発言、演奏、音楽づくり、記述)
第6時	和音の響きと和音の連結によって生まれる和声に合わせて旋律をつくる活動に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に音楽づくりの学習活動に取り組もうとする。	<ul style="list-style-type: none"> ○和音の響きと和音の連結によって生まれる和声に合わせて旋律をつくる活動のまとめ ・グループごとに作品を聴き合ったり、リコーダーで演奏したりする。 ・和音の移り変わりによって生まれる和声のよさについて、考えを交流する。 ・低音と和音の移り変わりに気を付けながら「茶色の小びん」を合奏する。 ・旋律にふさわしい和音の連結による音楽の響きのよさや美しさについて、考えをまとめる。 			態 (発言、演奏、記述)

8 本時(全6時間中の第5時)

(1) 本時の目標

音楽の縦と横との関係を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、旋律を工夫し、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもつ。

(2) 本時の展開

時間	○学習内容 ・学習活動	☆ 指導上の留意点 配慮事項	□評価 (評価方法)
導入 5分	○前時の振り返り ・トーンチャイムで和音の移り変わりを演奏したり演奏を聴いたりする。	☆和音の響きと和音の連結によって生まれる和声を感じ取りながら演奏するよう指示をする。	
展開 35分	○本時のめあての確認 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">和音の移り変わりに合わせて、まとまりのあるせんりつをつくろう。</div> ○全体のまとまりを意識した旋律づくり ・学習者コンテンツに、低音と和声進行を入力する。 ・前時につくった4小節の作品を手掛かりにして、リコーダーでまとまりのある旋律をつくる。 ・つくった旋律をコンテンツの和音に合わせて歌ったりリコーダーで演奏したりしながら再構成する。 ・つくった旋律を聴き合う。 ・旋律を学習カードに書く。	☆コンテンツの和音を聴きながらいろいろなつなげ方を試し、学習カードにメモをするよう指示をする。 ☆つくった旋律が和音の響きと和音の連結によって生まれる和声に合っているかどうかを確認することができるよう、コンテンツの和音に合わせて歌ったりリコーダー等で演奏したりする活動を設定する。 ☆つくる過程でも、友達と助言し合うよう助言する。 ☆「和音の移り変わりに合う旋律になっているか」「音のつなげ方は適切か」という視点で聴き合うよう指示をする。	②音楽の縦と横との関係を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、旋律を工夫し、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。 (発言、演奏、記述)
まとめ 5分	○振り返り		